

近藤薫プロデュース

リヴァラン 弦楽四重奏団 #5

+1 プラス・ワン

©Yusuke Matsuyama

チェロ
遠藤 真理*
ゲスト

ヴィオラ
佐々木 亮
NHK交響楽団
首席ヴィオラ奏者

チェロ
クリスティアン・ギガー
Christian Giger
元グヴァントハウス管弦楽団
第一首席チェロ奏者

1stヴァイオリン
川久保 陽紀
ソリスト

モーツァルト
ディヴェルティメント
へ長調 K.138

V. ウルマン
弦楽四重奏曲 第3番
Op.46

シューベルト
弦楽五重奏曲
ハ長調 Op.163, D956*

東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター・近藤薫が、
最も信頼のおける仲間たちと結成した長野市芸術館発の
レジデント・カルテット、リヴァラン弦楽四重奏団、第5弾公演！
「プラス・ワン」のゲストに、読響ソロチェロ奏者、遠藤真理が登場！

The Riverrun
String Quartet
Plus One

2ndヴァイオリン
近藤 薫
東京フィルハーモニー交響楽団
コンサートマスター

1/17 2026 土 14:00開演(13:30開場)

長野市芸術館リサイタルホール

¥4,000 [全席指定・税込] チケット一般発売 10月11日(土)10:00~

- 長野市芸術館チケットオンライン [インターネット予約](https://www.nagano-arts.or.jp/) <https://www.nagano-arts.or.jp/>
- 長野市芸術館チケットセンター 窓口・電話 026-219-3191 [10:00~19:00/火曜定休]
- e+(イープラス) : <https://eplus.jp>
- ヒオキ楽器本店シャコンヌ【窓口販売】 ●美鈴楽器本店【窓口販売】

主催 一般財団法人長野市文化芸術振興財団 SNSもやっています!!



長野市芸術館
チケットオンライン

●出演者・曲目・その他に変更が生じる場合がございます。●不可抗力による公演中止の場合を除き、本券の払い戻し、他公演との交換はいたしません。●未就学児のご入場はご遠慮いただきます。●車椅子席をご希望の方は、長野市芸術館チケットセンター(TEL:026-219-3191/10:00~19:00 火曜定休)へお問い合わせください。●駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ヴァイオリニスト近藤薫とともに2020年2月に立ち上げた、長野市芸術館のレジデント・カルテットでもある「リヴァラン弦楽四重奏団」。年1回の定期演奏会を継続しています。

「リヴァラン riverrun」とは、ジェイムズ・ジョイスの最後の小説「フィネガンズ・ウェイク」冒頭の言葉。

造語ですが、川は流れる、川はゆく、との意味。

たゆまず流れ、すべてが繋がってゆく、終わりのない円環を表しています。

昨年度からの試みとして、「+1」プラス・ワンとして、ゲスト奏者を入れた

五重奏曲もプログラムに取り入れます。アンサンブルの妙をお楽しみください。



1stヴァイオリン
川久保 陽紀 Tamaki Kawakubo, violin



2ndヴァイオリン
近藤 薫 Kaoru Kondo, violin
東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター



ヴィオラ
佐々木 亮 Ryo Sasaki, viola
NHK交響楽団首席ヴィオラ奏者



チェロ
クリスティアン・ギガー
Christian Giger, violoncello
元グヴァントハウス管弦楽団 第一首席チェロ奏者

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2002年チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞以来、幅広いレパートリーを手がけ、国内外でリーディングソリストとして活躍を続けている。日本では1997年、ジョン・ウィリアムズ指揮アジア・フィルのソリストとしてデビュー。以後、国内外様々なオーケストラと共演を重ね、高度な技術と作品の品位を専ら深い音楽性が高い評価を得ている。近年は、欧米での活動と並行し、国内ではP.ヤルヴィ/NHK交響楽団、P.インキネン/日本フィルハーモニー、尾高忠明/東京交響楽団、小泉和裕/東京都交響楽団など国内主要オーケストラとの共演に加えて、自ら企画するコンサートなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮。小管優とのソロ&室内楽プロジェクト、遠藤真理と三浦友理枝とのトリオなど、室内楽にも積極的に取り組んでいる。

2027年に日本デビュー30周年を迎える。5歳の時にヴァイオリンを始め、R.リプシット、D.ディレイ、川崎雅夫、Z.ブロンなどの各氏に師事。現在、桐朋学園大学大学院教授。

東京芸術大学をアカンサス賞を受賞して卒業後、同大学院修士課程修了。在学中から国内の様々なオーケストラにゲスト・コンサートマスターとして出演する他、芸大派遣によりウィーン音楽大学の夏季講習会に参加し、アルバン・ベルク、アマデウス、ハーゲン等の弦楽四重奏団のメンバーに学び、室内楽の分野でも研鑽を積む。国内の主要オーケストラで客演コンサートマスターを務める他、イタリア、ドイツ、オーストリア、スペイン、カナダ、中国、台湾など海外でも活躍している。透明感のある美しい音色、また、繊細さと力強さの両極をダイナミックに表現するその演奏は、各地で好評を得ている。現在、東京フィルハーモニー交響楽団、フューチャー・オーケストラ・クラシックス(旧・ナガノ・チェンバー・オーケストラ)コンサートマスター。これまでに水野佐知香、岡山源、松原勝也、ヴォルフガング・マルシュナー、海野義雄の各氏に師事。大幸財団、松尾財団より奨学金を授与。日本香港国際音楽コンクール、刈谷国際音楽コンクール審査員。東京音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。東京大学先端研教授。東京フィルハーモニー交響楽団創設時のコンサートマスター近藤薫は祖父で、三世代に渡ってヴァイオリニストという音楽家の家系に育つ。愛知県出身。

東京芸術大学附属音楽高等学校を経て東京芸術大学卒業。在学中、安宅賞受賞。芸大オーケストラと共演。1991年、現音室内楽コンクール第1位、「朝日音楽賞」受賞。1992年、東京国際室内楽コンクール(民音)第2位、「ルフトハンザ賞」受賞。1992年秋より、ニューヨーク、ジュリアード音楽院入学。アスペン音楽祭、マルボロ音楽祭に参加。在米中リンカーンセンターでリサイタルの他、室内楽奏者として全米各地にて活動。内田光子、ヒラリー・ハーン、ナージャ・サレルノ・ソネンバーク、リン・ハレル、デイヴィッド・ソイヤー等と共演し、好評を博した。また弦楽アンサンブルSejong Soloists、ヴィヴァルディ・ヴィルトゥオーゾのメンバーとしてカーネギー・ホールなど各地の主要ホールで演奏した。CDはEMI/Angelよりチャイコフスキー・弦楽六重奏、ブラームス弦楽六重奏をリリース。これまでに掛谷洋三、沢和樹、田中千香士、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫の各氏に師事。また室内楽をジェイコブ・ラタイナー、フレックス・ガリアの各氏に師事。2003年帰国。2004年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。2008年から2014年まで岡山源弦楽四重奏団メンバー。東京クライス アンサンブルなど室内楽奏者としても幅広く活動している。また演奏活動の傍ら桐朋学園大学、洗足学園大学、東京芸術大学、東京音楽大学にて後進の指導にも当たっている。

スイス生まれ。ケルン国立音楽大学にて、チェロをボリス・ベルガメンシコフ、室内楽をアマデウス弦楽四重奏団に師事。1992年最高点で同音楽大学を卒業。同年ライプツィヒ・グヴァントハウスオーケストラ第一首席チェリストに就任。2024年、32年間勤めた同オーケストラを、室内楽やソロとして教育の場面でより活動時間を得るため、退職。在任中もソリストとして同オーケストラと、ブリテン、ドヴォルザーク、エルガー、ベートベン(トリプル協奏曲)、ハイドン、ペンデレツキ等のコンチェルトを共演。2019年秋、ボストンに於けるボストン交響楽団とグヴァントハウスオーケストラとの共同コンサートでは、アンドリー・ネルソンス指揮でハイドンのシンフォニア・コンチェルタンテを演奏。2023年6月、ドイツ・グラモフォン企画制作によるDVD、サンサーンス作曲「動物の謝肉祭」では、ピアニストのランランと「白鳥」を共演。その他グヴァントハウス・パッサ・オーケストラ、シンフォニエッタ・ライプツィヒ、又スイス国内のオーケストラとも、ラロ、サンサーンス、フランク・マルタン、チャイコフスキー等を演奏。共演指揮者として、ヘルベルト・ブロンシュテット、シャルル・デュロワ、レオポルト・ハーガー、リチャード・ヒコックス、ドミトリ・キタエンコ、オメル・マイヤー・ウェルバー、マリ・オーヴェンゼーゴ、サムエル・フリードマン等が挙げられる。2019年マーク・クレベルグ市長より市長賞を授けられる。クラシックレーベルのダブリング・ハウス&グリム(MDG)よりモルトン・フェルトマン及びジャント・シエルシーの作品によるCDをリリース。楽器は、マテオ・ゴブリナー(1710年、ヴェネツィア)使用。



チェロ
遠藤 真理 Mari Endo

オフィシャル・ホームページ
<http://endomari.com>

第72回日本音楽コンクール第1位、2006年「ブラハの春」国際コンクール第3位(1位なし)、08年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。ジャン・ピエール・ヴァレーズ、山田和樹など国際的に活躍する指揮者やウィーン室内管、ブラハ響と共演するなど国内外で高い評価を得ている。現在ソリストとして活動すると共に読売日響のソロ・チェロ奏者も務める。2019年12月にはショスタコーヴィッチと坂本龍一のトリオ・アルバムを2枚同時発売。現在ソロ4枚とトリオ3枚のCDアルバムがエイベックス・クラシックスよりリリース。NHK大河ドラマ「龍馬伝」紀行の演奏(第3部)、2012年から8年間NHK-FM「きらくら!」(全国放送)のパーソナリティを務める等テレビ、ラジオでも活躍中。2009年青森県雄勝町マリン基金賞受賞。

長野市芸術館を飛び出して、初のツアー公演!!

「ステージでく」プレミアムコンサート 近藤 薫プロデュース

リヴァラン弦楽四重奏団 プラス・ワン

2026年1月18日(日) 15:00開演

ハーモニーホールふくい 大ホールステージ

全席指定、車いす席：4,000円(小〜大学生：半額)

主催：(公財)福井県文化振興事業団 企画制作：長野市芸術館

2025年度 長野市芸術館 年間協賛パートナー 一覧

- ゴールドパートナー** (株)岩野商会、(株)角藤、(株)システム、(株)電算、ホクト(株)、(株)本久
- シルバーパートナー** (株)AOKIホールディングス、SBC信越放送、(公財)倉石地域振興財団 栗田病院、(株)ケイケンシステム、信濃毎日新聞、高沢産業(株)、(株)中嶋製作所、長野信用金庫、長野日本無線(株)、八十二銀行 長野銀行、富国物産(株)、不二越機械工業(株)、(株)マナテック、ユークグループ
- ブロンズパートナー** (株)アクトック、(株)アサヒエージェンシー、朝日税理士法人、(株)旭電気商会、山田記念 朝日病院 朝日ながの病院、(株)アド・ユニティ、アペレコード、(有)いろは堂、(株)インデックス、(株)エイブルデザイン、eternal story(株)、長野エフエム放送(株)、(株)エンドウ日本料理さがみ、(株)小田切車庫、オフィス・マユ、かーいんてりあ高橋、(株)カナエ、金澤工業(株)、カヤバCS(株)、(株)吉花印刷、共立塗装商会、(株)共立プランニング、クリーニングAPA、(株)コウサカ、(株)国際社会健全育成学会、(株)コンテンツビジョン、(株)三広、三力信和産業(株)、(株)シアターワークショップ、信濃化学工業(株)、週刊長野新聞社、シューマート長野稲本店、信越ビル美装(株)、新日本設計(株)、すき家、鈴木土地(株)、炭平コンピューターシステム(株)、相馬商事(株)、損害保険ジャパン(株)、(株)第一包装企画、大日本法令印刷(株)、大和施設(株)、(株)タカチホ、(株)高見澤、宝資源開発(株)、チサンブランド長野、(株)d-ネクスト、テレビ信州、デモンホールディングス(株)、東信運送(株)、長坂パロックス(株)、(株)ながのアド・ビューロ、長野運送(株)、長野県経営者協会、けんしんBANK、長野県労働金庫、(株)長野三光、長野市商工会、長野証券(株)、長野市工会議所、長野テクノロン(株)、長野電鉄(株)、長野都市ガス(株)、長野美術専門学校、(株)長野舞台、(株)長野フロー、(一社)長野法人会、長野放送、西沢印刷(株)、NiKKI Fron(株)、日穀製粉(株)、日本ガス工事(株)、日本生命、(株)ヒシヤ、フーズネットながの(株)、富士通Japan(株)、フレックスジャパン(株)、ベイクックコーポレーション(株)、ホテルメトロポリタン長野、松代園芸(有)、松代建設工業(株)、(株)マルイチ産商、マルコム(株)、(株)みずすコーポレーション、ミツヤジャーホーム(株)、(一社)メディカルチェック、(株)守谷商会、根元 八幡屋磯五郎、ヤマハサウンドシステム(株)、(株)和田正オートボックス、One&Only(株)



長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER

〒380-8512 長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地
(長野市役所第一庁舎と同じ建物です)

公演についてのお問い合わせ：長野市芸術館 TEL:026-219-3100 [9:00~19:00 / 火曜休館] jigy@nagano-arts.or.jp